

# 全鉄連流通動態調査結果表 平成28年7月分

(28. 8. 25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		6月実績	前月比	7月実績	前月比	7月実績	前月比	7月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	6,269	97.9%	57,194	102.5%	57,487	102.8%	5,976	95.3%	
	大阪	5,736	91.4%	24,858	102.9%	25,879	104.7%	4,715	82.2%	
	愛知	6,703	109.9%	2,248	67.9%	2,181	80.5%	6,770	101.0%	
	計	18,708	99.6%	84,300	101.2%	85,547	102.6%	17,461	93.3%	
形鋼	山形鋼	東京	20,102	97.0%	8,582	100.1%	9,274	100.9%	19,410	96.6%
		大阪	19,294	97.1%	8,538	92.2%	8,976	91.2%	18,856	97.7%
		愛知	11,814	98.9%	6,143	98.8%	6,299	99.2%	11,658	98.7%
		計	51,210	97.5%	23,263	96.7%	24,549	96.7%	49,924	97.5%
	溝形鋼	東京	15,718	98.1%	4,907	89.1%	6,211	106.9%	14,414	91.7%
		大阪	12,636	107.5%	4,676	69.1%	5,688	96.7%	11,624	92.0%
		愛知	8,640	105.2%	3,953	79.5%	4,370	96.2%	8,223	95.2%
		計	36,994	102.8%	13,536	78.5%	16,269	100.2%	34,261	92.6%
	H形鋼	東京	28,655	96.9%	13,529	103.1%	15,468	110.2%	26,716	93.2%
		大阪	37,153	97.5%	29,768	128.1%	27,708	114.6%	39,213	105.5%
		愛知	23,509	98.7%	11,058	87.3%	12,309	94.8%	22,258	94.7%
		計	89,317	97.6%	54,355	110.9%	55,485	108.4%	88,187	98.7%
合 計		177,521	98.6%	91,154	100.9%	96,303	103.8%	172,372	97.1%	
コ ラ ム	東京	10,008	98.5%	2,781	88.0%	3,016	90.9%	9,773	97.7%	
	大阪	10,436	95.4%	5,029	127.3%	5,595	125.8%	9,870	94.6%	
	愛知	2,201	104.2%	1,108	116.6%	1,109	128.8%	2,200	100.0%	
	計	22,645	97.6%	8,918	110.6%	9,720	112.7%	21,843	96.5%	
軽量C形鋼	東京	3,532	101.2%	2,277	88.9%	2,539	100.9%	3,270	92.6%	
	大阪	3,180	97.1%	2,028	96.9%	1,961	89.6%	3,247	102.1%	
	愛知	2,966	102.7%	1,263	89.1%	1,348	100.5%	2,881	97.1%	
	計	9,678	100.3%	5,568	91.7%	5,848	96.7%	9,398	97.1%	
総 計		228,552	98.7%	189,940	101.2%	197,418	103.5%	221,074	96.7%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京31 大阪21 愛知15 合計67社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。